

# 2025(令和7)年度 クラブ及び同好会規定

## 第1章 総則

- 第1条 この規定は、クラブ活動の円滑及び各クラブの目的にそった発展を目標とするものである。
- 第2条 クラブ運営に関してはこの規定で定める。この規定は生徒会の執行委員会、代議員会、生徒総会及び職員会議の議決により定める。
- 第3条 クラブ運営は生徒の自主性によって行うことを原則とし、顧問は助言的立場から指導する。
- 第4条 クラブの種類は生徒会所属の生徒会クラブ(以下クラブと略称する)と生徒会有志同好会(以下同好会と略称する)の2種とする。  
クラブには体育クラブと文化クラブを置く。
- 第5条 クラブは活動に必要な生徒会予算の請求と配分を受ける権利をもつが、同好会はその権利をもたない。

## 第2章 クラブ

- 第6条 現在は下記のクラブを設置する。
- 1 体育クラブ  
ソフトテニス、バスケットボール、ソフトボール、卓球、陸上競技、バレーボール、バドミントン
  - 2 文化クラブ  
華道、茶道、吹奏楽、書道、演劇、食物、ボランティア、絵画・文芸
- 第7条 クラブの成立に必要な部員数は5人以上とする。
- 第8条 クラブの成立に必要な人数に満たないクラブの扱いについては執行委員会、代議員会で協議し生徒総会で決定する。
- 第9条 クラブの設置・廃止については代議員会、生徒総会及び職員会議の承認を得なければならない。
- 第10条 各クラブは部長、副部長、会計及び顧問をおかななければならない。
- 第11条 クラブ員は、入退部の際には各クラブ部長、及び各クラブ顧問に届け出なければならない。
- 第12条 クラブは同好会に優先して学校施設の利用、その他の便宜を与えられる。但し相互に友愛・協力の精神に欠ける行動があってはならない。
- 第13条 文化クラブは毎年1回以上、校内発表を行わなければならない。

## 第3章 同好会

- 第14条 同好会を組織し、活動をしようとする時は所定の許可願を執行委員会に提出しなければならない。
- 第15条 14条の許可願には次の諸条件を備えていなければならない。
- 1 活動の目的、内容が高校生の立場をこえないものであること。
  - 2 顧問をおくこと。
  - 3 活動に必要な人数は5人以上とする。
- 第16条 同好会の設置については許可願をもとに執行委員会、代議員会及び職員会議で協議、決定する。
- 第17条 16条における承認をうけるまでは公式な活動は一切認めない。
- 第18条 3年間、同好会として活動した後、クラブ昇格を執行委員会に要求することができる。

### [申し合せ事項]

部員数がない場合は休部とし、休部が3年以上続けば廃部とする。